

図書館学生協働交流シンポジウム

2024 年 9 月
法学部法学科 3 年
細川 勸司

1. 目的・背景

大学図書館学生協働交流シンポジウムは大学図書館でさまざまな活動を行っている学生が全国から集まり、他団体と交流を行うことを目的として開催しています。C3 では、このシンポジウムを通して他団体の活動を知り、糧にしていくことで、より活発な図書館での活動を目指しています。

2. 実施日時、場所、C3 参加者について

活動日時または実施日時…9 月 5 日 (13:00～16:30) ～9 月 6 日 (8:30～11:30)

場所…図書館 2 階読書指導室(Zoom)

参加者…4 名 (C3 メンバー)

3. 活動内容・成果

第 12 回大学図書館学生協働交流シンポジウム「ウィズコロナの経験をアフターコロナでどう活かすか」に参加しました。本プログラムでは、9 月 5 日に活動報告が行われ、9 月 6 日にワークショップが行われました。

活動報告では 11 団体もの発表があり、他団体の活動を知る良い機会となりました。特に C3 と同規模の団体では、企画班・広報班といったように班分けしているところがあり、今後参考にしたい組織作りだと感じています。

ワークショップでは、事前課題で準備した「コロナ禍の影響により忘れられたサービスや、新たに導入されたがあまり使われていないサービス」に対して、課題点や改善策、企画案などを、グループワークを通じて話し合いました。C3 では「郵送貸し出し」と「図書館見学ツアーガイド動画」について考え、全体共用会では発表しました。実現可能か否かはさておき、話し合っって現状のサービスの課題点を洗い出し、改善策や企画案をブラッシュアップしていく一連の作業は、社会人になっても必要となる能力だと実感することができ、とても有意義なワークショップとなりました。



5. 所感

本プログラムはとても充実したものだったと感じています。C3 では普段の活動で他大学と交流することはほとんどなく、他団体の活動について知る機会がありませんでした。しかし本プログラムに参加したことは、様々な企画や組織作りについて学ぶきっかけとなり、今後の C3 活動の幅を広げるような活動になったと考えています。